



風水害に備えましょう

固防災危機管理課 43-2147



近年、全国各地で大雨による被害が相次いで発生しています。
日頃から風水害に備え、大雨や台風の際に適切に行動できるよう心がけましょう。

大雨や台風が近づく前に、洪水ハザードマップや土砂災害ハザードマップを確認！

●自宅や職場が「洪水浸水想定区域」や「土砂災害警戒区域」内に位置しているか

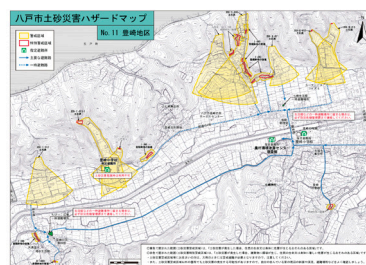
→災害の危険がある場合は、安全な場所への避難を前もって検討しておきましょう。

●災害の種類に応じた避難先の確認

→災害の種類によって安全な地域が異なります。

例えば、〇〇小学校は土砂災害のときは避難可能ですが、洪水のときは避難不可、というような場合があります。あらかじめ確認しておきましょう。

土砂災害ハザードマップ



ハザードマップはこちら

避難するときの心得を確認！

避難するときにもさまざまな危険が潜んでいます。十分注意して、慌てず、速やかに避難しましょう。

●夜間を避けて早めの避難

夜間の避難は、周りの状況が確認しにくく、非常に危険です。可能な限り暗くなる前に避難しておきましょう。

●避難の際は車の使用を控えましょう

渋滞や浸水の影響で走行が困難になることがあります。浸水が深くなると、ドアが開けにくく、車ごと流されるおそれもあります。原則として徒歩で避難しましょう。

●履き慣れた、動きやすい靴を履きましょう

長靴は中に水が入ると歩きにくくなります。普段使いの靴を履いて避難しましょう。底の厚いスニーカーがあればなお良いでしょう。

●氾濫水は勢いが強い

川が氾濫し、水深が膝のあたりまで達すると、大人でも歩くのが困難です。どうしても避難所までたどり着けない場合は、緊急避難として、高くて頑丈な建物にとどまることも選択肢の一つです。

分散避難も検討しましょう

○ハザードマップを確認し、自宅や職場が安全な場所にある人は、必ずしも避難する必要はありません。頑丈な建物の高い階に住んでいて、浸水があっても安全が確保できる場合は、水や食料などの準備をした上で、「在宅避難」をしましょう。

○市が開設する避難所に限らず、安全な場所に住んでいる親戚、友人などの家や、ホテルなどの宿泊施設も「分散避難」としての避難先になりえます。

風水害に関する情報は、ほっとスルメールで入手！



市では、災害情報のほか、気象情報やライフライン（電気・ガス・水道）情報など、生活に役立つさまざまな情報をメール配信しています。ぜひ登録しましょう！

<https://anshin.city.hachinohe.aomori.jp/anshinPub/>



登録用QRコード

スマートフォンアプリ「ほっとスルメールアプリ」でも配信中国！